



おにぎり通信

2015年1月17日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅

周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今日で阪神・淡路大震災が発生してから丁度20年になります。節目の年に

様々な復興イベントが予定されており、中には、震災の年に復興を祈念して仕込

まれ20年間熟成された日本酒を発売する地元灘五郷の蔵元もあります。一方

で、新聞社が行った調査によると、被災者の方々が最も強く感じているのが、

震災の風化です。8割を超える人たちが忘れられていくことへの懸念を感じてい

ます。住んでいる人の中でも、20年が経ち、震災を経験していない人の方が

多数派になっています。

★1月5日 福祉行動報告

どなたもお見えになりませんでした。

次回の福祉行動:1月19日(月)

東京駅丸の内北口地下に朝8時30分までに集合してください。喫煙所横、

コンビニの並びの赤富士の絵のところに「おにぎり通信」を持った者が待機し

ますので、声をかけてください。病気やケガの治療を希望される方や体を休めたい

方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグナチオ生活相談室」まで同行します。福祉行動は

原則、毎週月曜日に行います。福祉行動は参加される方が、ご自身の希望をご

自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

もより ふくしじむしょ せいかつそうだんしつ
最寄の福祉事務所と生活相談室

ちゅうおうくふくしじむしょ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしょ かい
中央区福祉事務所…中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

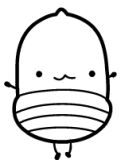
ちよだくふくしじむしょ ちよだくくたんみなみ かい
千代田区福祉事務所…千代田区九段南1-2-1 3階

せい せいかつそうだんしつ ちよだくこうじまち
聖イグナチオ生活相談室…千代田区麴町6-5-1

ことし がつ あたら どうにゆう せいかつこんきゅうしゃじりつしえんほう せんしゅう ひ
今年4月から新しく導入される生活困窮者自立支援法について、先週に引
つづ か おも あたら せいど もくてき せいかつほ こ う
き続いて書きたいと思います。この新しい制度の目的は、生活保護を受けてい
ひといがい せいかつ こま ひと つうじょう しこと つ
る人以外の生活に困っている人が、通常の仕事に就くことができるようになっ
じりつ じょうたい め た じつげん
て自立し、そうした状態から抜け出すことです。そして、それを実現するため
しゅだん ちゅうかんできしゅうろう
の手段のひとつとなるのが、いわゆる「中間的就労」です。

ちゅうかんできしゅうろう つうじょう しこと つ てまえ だんかい くんれん しこと
「中間的就労」は、通常の仕事に就くひとつ手前の段階で、訓練として仕事
たいけん たいけん しえんつ しこと つ せいど にんてい
を体験する、あるいは、支援付きの仕事に就くものです。この制度で認定された
じぎょう つうじょう ひかくてきようい しこと つ かのうせい いっぽう さいてい
事業においては、通常より比較的容易に仕事に就ける可能性がある一方で、最低
ちんぎん したまわ すいじゆん しこと みと ろうどうりよく ふとう
賃金を下回る水準での仕事も認められています。このため、労働力の不当な
さくしゅ ひんこん しく じゆんび
搾取（いわゆる「貧困ビジネス」）とならないような仕組みが準備されています
こうか うたが こえ き
が、それがどこまで効果があるについては疑う声も聞かれます。

ちゅうかんできしゅうろうせいど じっさい つか わ
中間的就労制度が実際どのように使われていくことになるのかまだよく分
ほうりつ ほんらい しゆし そ せいかつ こま ひと たす
からないですが、法律の本来の趣旨に沿って、生活に困っている人の助けとなる
きかい たくさんようい のぞ
機会が沢山用意されていくことが望めます。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱

に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずそ

の日のうちにお召し上り下さい。また、お1人1個でお願いします。

よつや なかま れんらくさき いわた
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：090-4959-0652（岩田）